

2021年4月5日

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
三井住友海上火災保険株式会社

～社員が安全に運転する環境を整備／事故のない快適なモビリティ社会を実現～

セブン-イレブンの社用車に『Fードラ』『FOUR SAFETY』を導入

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（代表取締役社長：永松 文彦、以下セブン-イレブン）は2021年3月より、社用車に三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎、以下三井住友海上）の「フリート契約向けドライブレコーダー・テレマティクスサービス『Fードラ』および『FOUR SAFETY』～ながら運転防止支援サービス～」の導入を順次開始しました。

『Fードラ』および『FOUR SAFETY』は、社員の安全運転、事故削減につながるサービスです。セブン-イレブンでは2020年3月より、同サービスを一部地域にて試験的に導入した結果、社員の安全運転意識が向上し、事故・違反削減効果が確認できたことから、今般、店舗経営相談員（OFC、オペレーション・フィールド・カウンセラー）の車両を中心にサービスの本格導入を決定いたしました。今回は約3,000台への導入となり、1,000台を超える社用車への導入例は、セブン-イレブンが初となります。

セブン-イレブンは、『Fードラ』および『FOUR SAFETY』の導入を通じて、社員が安全に運転する環境を整え、重大事故を未然に防ぐことにより、社員の生活を守ることを目指していきます。

三井住友海上は、「社会との共通価値を創造する（CSV：Creating Shared Value）」取組の中でSDGsを道しるべとし、重点課題のひとつである「事故のない快適なモビリティ社会を作ること」の実現に貢献していきます。

1. 『Fードラ』の主な機能

『Fードラ』は専用ドライブレコーダーで、企業・従業員の「事故・緊急時」「事故防止取組」「運行管理」の3つをサポートする三井住友海上のフリート契約者向け有償サービスです。



専用ドライブレコーダーで安全運転の取組をサポート

事故・緊急時



専用ドライブレコーダーが、事故等、一定以上の衝撃を検知すると、専用安否確認デスクに自動通報。

事故防止取組



専用ドライブレコーダーが、危険運転挙動を検知し、アラートでお知らせ。運転傾向や危険運転動画も確認可能。

運行管理



専用ドライブレコーダーにより、走行ルート、現在地、最高速度、運転時間、運転間隔等が確認可能。

2. 『FOUR SAFETY』の主な機能

『FOUR SAFETY』は、シガープラグ型の専用端末とスマートフォンアプリにより、車が一定の速度を超過すると、スマートフォン操作を制御するサービスです。

『FOUR SAFETY』は“4つ”の“安全のために”という意味です。運転中のスマートフォン操作を制御することで、「従業員」「企業」「社会」「未来」の安全を実現したいという願いを込めています。



乗車時、自動的に専用アプリを起動しスマホの操作を制御



乗車時

乗車し専用端末に接近すると自動で専用アプリが起動



走行時

一定の速度を超過するとスマホが強制停止

以上